

# 専攻

平成 30 年 7 月 18 日実施

平成 3 1 年度専攻科入学者選抜学力検査問題

## 【専門科目】 経営工学

(配点)

1	50 点
2	50 点

### (注 意)

- 1 問題用紙は指示があるまで開かないこと。
- 2 問題用紙は 1 ページから 4 ページまで、解答用紙は 2 枚である。  
検査開始の合図のあとで確かめること。
- 3 答えは、すべて解答用紙に記入すること。
- 4 解答用紙の総得点欄および得点欄には記入しないこと。
- 5 計算用紙は本冊子から切り離さないこと。

1 次の(1)~(6)について空欄①~⑦を答えなさい

(1) 在庫管理の考え方に基づいた発注方式について、次の名称を答えなさい

- ・発注時期が固定で、毎回の発注量を決定する発注方式 ( ① )
- ・発注量が固定で、在庫がある一定水準を下回った時に発注する方式 ( ② )

(2) ( ② ) における発注量 EOQ を日本語で何と呼ぶか ( ③ )

(3) ( ② ) における発注を行う在庫水準を何と呼ぶか ( ④ )

(4) リードタイムとはどのような期間か説明しなさい ( ⑤ )

(5) 需要の変動による品切れに対処するために設定される在庫量を何と呼ぶか ( ⑥ )

(6) 半完成品状態の在庫を何と呼ぶか ( ⑦ )

[ 計 算 用 紙 ]

② 次の(1)~(3)について空欄①~⑩を答えなさい

(1) AHP とは階層化分析法のことである。AHP を英語のフルスペリングで書きなさい  
( ① )

(2) AHP では解決すべき問題を 3 段階の階層構造に整理する。この階層構造の各レベルを  
上位から順にレベル 1 ( ② )、レベル 2 ( ③ )、レベル 3 ( ④ ) とするとき  
それぞれの名称を日本語で答えなさい

(3) レベル 3 について「A 案」「B 案」「C 案」が提案されたとする  
各案について一対比較を行い、次のような比較表が得られた  
この時、空欄⑤, ⑥, ⑦に入る値を答えなさい  
またそれぞれの重み⑧, ⑨, ⑩の値を幾何平均法で求めなさい  
(小数点以下 3 桁まで有効)

ただし $\sqrt[3]{3}=1.442$ 、 $\sqrt[3]{5}=1.710$ 、 $\sqrt[3]{7}=1.913$  とする

比較表

	A	B	C	重み
A	1	1 / 3	⑤	⑧
B	3	⑥	1 / 7	⑨
C	5	⑦	1	⑩

[ 計 算 用 紙 ]

# 専攻科

平成30年7月18日実施

平成31年度専攻科入学者選抜学力検査問題

## 【専門科目】 会計学

(配点)

①	50 点
②	50 点

### (注 意)

- 1 問題用紙は指示があるまで開かないこと。
- 2 問題用紙は1ページから4ページまで、解答用紙は2枚である。  
検査開始の合図のあとで確かめること。
- 3 答えは、すべて解答用紙に記入すること。
- 4 解答用紙の総得点欄および得点欄には記入しないこと。
- 5 計算用紙は本冊子から切り離さないこと。

1 次の連結財務諸表に関する問題について答えなさい。

(株)宇部は、×1年3月31日に(株)常盤の発行済株式(子会社株式)の60%を3,000円で取得して、実質的に支配している。次の資料にもとづき、以下の設問に答えなさい。

解答する際には、以下の勘定科目を参照すること。

諸 資 産	子 会 社 株 式	の れ ん	諸 負 債	繰延税金負債
資 本 金	利 益 剰 余 金	評 価 差 額 金	非支配株主持分	繰延税金資産

(資料)

1 ×1年3月31日の(株)宇部と(株)常盤の貸借対照表は、次のとおりである。

貸借対照表

(株)宇部	×1年3月31日		(単位:円)	
諸 資 産	12,000	諸 負 債	7,000	
子 会 社 株 式	3,000	資 本 金	5,000	
		利 益 剰 余 金	3,000	
	15,000		15,000	

貸借対照表

(株)常盤	×1年3月31日		(単位:円)	
諸 資 産	7,000	諸 負 債	3,000	
		資 本 金	3,000	
		利 益 剰 余 金	1,000	
	7,000		7,000	

- 2 支配獲得日における(株)常盤の諸資産の時価は8,500円であった。  
 3 評価差額については税効果会計(実効税率40%)を適用する。

問1 子会社の資産評価替仕訳を示しなさい。

問2 連結修正仕訳を示しなさい。

問3 問1と問2の結果を踏まえて、以下の連結財務諸表を作成しなさい。A~Cには勘定科目、1~9には金額を記入しなさい。

連結貸借対照表

(株)宇部	×1年3月31日		(単位:円)	
諸 資 産	( 1 )	諸 負 債	( 4 )	
( A )	( 2 )	( B )	( 5 )	
		資 本 金	( 6 )	
		利 益 剰 余 金	( 7 )	
		( C )	( 8 )	
	( 3 )		( 9 )	

問4 ある会社が子会社に該当するか否かを判断する方法に持ち株基準と支配力基準があるが、日本の会計制度ではどちらの基準が採用されているか答えなさい。

[ 計 算 用 紙 ]



2 次の問いに答えなさい。

問1 岐波(株)では、製品原価の計算に工程別単純総合原価計算を適用している。次の資料から、工程別総合原価計算表の中のA～Oがいくらになるか計算しなさい。ただし、完成品と月末仕掛品への原価の配分においては、第1工程は先入先出法を、第2工程は平均法を用いること。

【資料】

	第1工程	第2工程
月初仕掛品	300 個 (30%)	200 個 (30%)
当月投入	1,800 個	2,000 個
投入量合計	<u>2,100 個</u>	<u>2,200 個</u>
完成品	2,000 個	1,900 個
月末仕掛品	100 個 (50%)	300 個 (50%)
産出量合計	<u>2,100 個</u>	<u>2,200 個</u>

(注1) 材料はすべて第1工程の始点で投入される。

(注2) 上記の( )内の数値は、加工進捗度を示している。

(単位：円)

	第1工程			第2工程		
	材料費	加工費	合計	前工程費	加工費	合計
月初仕掛品原価	3,800	1,800		13,200	4,000	
当月製造費用	46,800	39,200		H	98,500	
合計						
月末仕掛品原価	A	C	E	I	K	M
完成品原価	B	D	F	J	L	N
完成品単位原価			G			O

問2 個別原価計算と総合原価計算の違いについて説明しなさい。

[ 計 算 用 紙 ]

# 専攻科

平成 30 年 7 月 18 日実施

平成 3 1 年度専攻科入学者選抜学力検査問題

## 【専門科目】 経営管理論

(配点)

1	60 点
2	40 点

### (注 意)

- 1 問題用紙は指示があるまで開かないこと。
- 2 問題用紙は 1 ページから 4 ページまで、解答用紙は 2 枚である。  
検査開始の合図のあとで確かめること。
- 3 答えは、すべて解答用紙に記入すること。
- 4 解答用紙の総得点欄および得点欄には記入しないこと。
- 5 計算用紙は本冊子から切り離さないこと。

1 次の各文を読んで正しければ○を、誤っていれば×をつけなさい。

- ① 20世紀初頭、テイラー (F. Taylor) によって提唱された科学的管理法は、労働者の中に発生していた組織的怠業を解消することを目的としていた。
- ② チャンドラー (A. Chandler) は、デュポンやフォードなどの大企業の組織改革の歴史について研究し、「戦略は組織にしたがう」という命題を主張した。
- ③ 三隅の PM 理論においては、目標達成機能 (P 機能) と集団維持機能 (M 機能) の両方を強く発揮する PM 型のリーダーシップが最も効果的であるとしている。
- ④ 一般に、職能 (機能) 別組織では、各職能 (機能) ごとに知識や技術の蓄積が促されるため、専門化の利益を享受しやすいといえる。
- ⑤ 株式会社における株主総会は儀礼的・形式的なものであるため、必ずしも開催される必要はない。
- ⑥ 普通の人間は命令されることを好み責任を回避したがるという人間観は、マグレガー (D. McGregor) の主張する X 理論と Y 理論に共通する前提である。
- ⑦ クロス・ライセンスングとは、自社の生産能力に余裕がある場合などに、他の企業からの製品の委託を受けて生産することをいう。これによって受託する企業は余剰生産能力の活用や、同一製品の大量生産による規模の経済を通して、効率的な生産を行なうことが可能となる。
- ⑧ メイヨー (E. Mayo) はホーソン実験の結果をふまえて、人間は経済的成果だけではなく社会的成果をも求め、公式組織より非公式組織の影響を受けやすいと主張した。
- ⑨ リッカート (R. Likert) は、組織におけるリーダーシップと生産性との関係について実証分析を行い、4つの管理スタイルを提唱した。
- ⑩ マズロー (A. Maslow) は、人間の欲求には5段階の階層性があるとして、経済的人間観による動機づけの仮説を展開し、経済的動機を主とする比較的低位の欲求群を重視すべきであるとした。

[ 計 算 用 紙 ]

2 HHI (Herfindahl-Hirschman Index) に関して、以下の枝問に答えなさい。

①HHI とは何か。簡単に説明せよ。

②次の表は、ある清涼飲料水の製品市場における市場占有率（金額ベース）についてのデータである。表中の「その他」には、5社がそれぞれ1%ずつの市場占有率を持つ構図となっている。この製品市場における HHI を求めよ。なお、途中の計算式も解答用紙に記述すること。

順位	メーカー名	市場占有率 (%)
1	A社	40
2	B社	30
3	C社	20
4	D社	5
	その他	5
合計		100

[ 計 算 用 紙 ]